

国際ロータリー第2550地区 【栃木】
2023-2024年度

ガバナー月信



02
ゴードン R.
マッキナリー
RI 会長メッセージ

03
国際ロータリー
第2550地区
運営指針の改定

04
Governor's
message
ガバナーメッセージ

05
強化月間委員長
寄稿

06
地区委員長
紹介

07 地区クラブ
会長・幹事紹介

08 6・7月実施行事報告

09 新入・物故会員

10 クラブ例会場
事務所一覧

11 ガバナー公式訪問日程

12 主要行事予定

13 クラブ定例報告
カレンダー

14 地区組織図

15 国際ロータリー
第2550地区6月会員数報告

16 NEWS



佐野商工会議所 主催 第16回 写真コンテスト
グランプリ「流鏝馬神事」伊瀬谷儀男氏

vol.2
2023.8

R.I.D 2550 tochigi
**GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER**

Contents 
アイコンをクリックでそのページにとびます。

My ROTARY Rotary International 



世界に希望を生み出そう

CREATE HOPE
in the WORLD

4つの テスト

<言行はこれに照らしてから>

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深める
- 4 みんなのためになるかどうか





ロータリーリーダー

クラブと地区のリーダーの成功をサポート

2023年7月



2023-24年度会長イニシアチブ

ゴードン R. マッキナリー国際ロータリー会長は、メンタルヘルスとその偏見をなくすことに情熱を傾けています。この偏見によって適切なケアが受けられずにいる人もいます。今年度、マッキナリー会長は「世界に希望を生み出す」ための三つの取り組み（メンタルヘルスの優先、バーチャル交換を通じた平和の構築、女兒のエンパワメント）に注力します。

- **メンタルヘルスの優先**：ロータリーは長年にわたって、メンタルヘルスと福利の取り組みに関わってきました。「超我の奉仕」というロータリーの文化は、コミュニティを築き、思いやりある行動を促します。この二つは、メンタルの健康を向上させ、維持する上でも重要な要素です。マッキナリー会長は、メンタルヘルスに関連した偏見を取り除き、メンタルヘルスのニーズについての認識を高め、質の高い予防ケアと介入へのアクセスを向上させることで、ロータリーにおける思いやりの文化を広げていくことをクラブと地区に求めています。また、会員が、メンタルヘルスの向上を支援するグローバルなコミュニティであるメンタルヘルス・イニシアチブのロータリー行動グループ（Rotary Action Group on Mental Health Initiatives）と協力することを奨励しています。このほかにも、薬物中毒予防などといった関連分野を専門とする行動グループがあります。メンタルヘルスの優先についてマッキナリー会長からのメッセージをご覧ください。
- **バーチャル交換を通じた平和構築**：ロータリーには、人と人とのつながりを生かして平和のために活動してきた長い歴史があります。コロナ禍で学んだことをヒントに、マッキナリー会長は地区に対し、より多くのプログラム、行事、活動、特にロータリー青少年交換とロータリー友情交換にバーチャルの要素を取り入れることを奨励しています。これは、人びとが異文化を体験し、参加し、理解を深めるための新しい方法となります。



- ・ **女兒のエンパワメントマッキナリー**会長は、世界中の女兒と女性の声を高めることに焦点を当てたこの取り組みを継続しています。女兒の健康、福祉、教育、経済的安定、自立を向上させる活動を続けることが会員に奨励されています。エンパワメントされた女兒たちは、世界を変える力を備えた女性となることができます。

詳しくは[会長イニシアチブのページ](#)をご覧ください。

世界を変える行動人

「インクルージョンの推進者」の祝賀行事をオンデマンドでご覧ください

「世界を変える行動人：インクルージョンの推進者」の祝賀行事の録画を、9月30日までオンデマンドでご覧いただけます。この行事は、行動を起こす人たちが力を合わせ、ロータリーを通じて帰属意識を高め、すべての人を尊重することで何が可能となるかを紹介する内容となっています。

ROTARY'S CHAMPIONS OF INCLUSION

A Celebration of Diversity, Equity and Inclusion



クラブのコーナー

「地域社会を祝おう」週間

9月11日～17日の週、世界各地のロータリークラブとローターアクトクラブは、健康と福祉、食糧危機と飢餓、教育と識字率向上、環境などに取り組む奉仕プロジェクトを実施するために、地元のライオンズクラブ、キワニスクラブ、オプティミストクラブと協力して活動します。共に力を合わせれば、地域社会で好ましいインパクトをもたらすことができます。今すぐ計画を立てましょう！

- ・ [Celebrate Community 2023](#)のフェイスブックイベントで「参加予定」をクリックする
- ・ この週間に実施した活動の写真を「#CelebrateCommunity」のハッシュタグを使ってSNSに投稿する

プロジェクトの立案、他団体のクラブとの連絡方法、「地域社会を祝おう」週間に関する質問は、[奉仕・参加促進担当](#)にご連絡ください。

最新情報

2022-23ロータリー年度を振り返る

昨年度には、行動計画の優先事項を支援しながら、クラブでの会員の体験をさらに充実させ、世界各地でロータリーの公共イメージを強化し、「よいこと」を行う力を高めてきました。みんなを温かく迎え入れるクラブの体験を作り出すロータリーの取り組みの一環として、今後も多様性、公平さ、インクルージョンへのコミットメントを強めていきます。現在、世界各地の250名以上のDEI委員長が、より多様で、公平で、インクルーシブなクラブづくりの機会を見出しています。3月1日現在、401の新たなロータリークラブと420の新たなローターアクトクラブの加盟申請が承認されました。ジョン・ヒューコ事務総長による[2022-23年国際大会への報告](#)にロータリーによる昨年度の達成事項が紹介されていますので、ぜひ会員にご紹介ください。

国際大会

シンガポールで世界と希望をわかちあおう

5月25日～29日にシンガポールで開催される2024年ロータリー国際大会に参加し、共に希望をわかちあいましょう。ロータリーで最大のイベント、国際大会が開催されるシンガポールで世界中から集う「行動人」と交流するために、今すぐ[登録](#)を。



① 第22条 名称変更

旧 地区ソーシャルメディア並びにIT推進委員会

新 DX推進委員会

(Digital Transformation : デジタル トランスフォーメーション)

② 第31条 ロータリー財団部門の変更について

1) ポリオ・プラス小委員会 (財団章典 25.020.1 より引用)

ポリオ根絶に向けたロータリーの取組みを支援し、全てのロータリアンによるポリオ・プラス活動への参加を奨励する事を担当する。

2) 補助金小委員会 (財団章典 25.020.2 より引用)

補助金小委員会は、地区補助金とグローバル補助金の実施及びロータリー平和センタープログラムへの参加の推進と奨励を担当する。

3) 寄付推進並びに恒久基金/大口寄付推進小委員会 (財団章典 25.020.3 より引用)

地区の寄付推進計画を監督し、クラブが年次基金と恒久基金の寄付目標を設定して達成できるように支援する事を担当する。

4) 資金管理小委員会 (財団章典 25.020.4 より引用)

ロータリー財団の補助金を慎重かつ責任をもって管理を徹底させ、ロータリアンに適切で効果的な補助金管理の情報や研修を提供する事を担当する。

5) ロータリー平和フェロシップ小委員会 (新規に増設 ; 財団章典 25.020.5 より引用)

ロータリー平和フェロシップ候補者の募集、支援、推薦に於ける責任を有し担当する。

6) ロータリー財団学友小委員会 (ロータリー章典 40.050.4, 財団章典 61.030 より引用)

研究グループ交換(GSE)、地区補助金奨学生、グローバル補助金奨学生、職業研修チーム(VTT)修了生、ロータリー平和フェロシップ等の当初目的を終了した社会人並びに学生とロータリアンとで構成され情報交換並びに様々な経験を共有しながら親睦を図る。

③ 第7条 名称変更

旧 : 地区研修リーダー

新 : 地区ラーニングファシリテーター



1) 地区ラーニングファシリテーター の任務及び責務

ガバナーは、ガバナーエレクトの推薦に基づいて、地区ラーニングファシリテーターを毎年任命しなければならない。地区研修ラーニングファシリテーターは、地区研修委員会の委員長を務め、必要に応じて研修会や研修行事の責務を委員に割り当てる。又地区研修委員会は、ガバナー及びガバナーエレクトを補佐して、クラブや地区指導者の研修に当たる責務がある。

2) 地区ラーニングファシリテーターの資格

地区ラーニングファシリテーターとしての最小限の推奨資格要件は、次の通りである。

- a) 少なくとも3年に亘り地区内のクラブに於いて、名誉会員以外の瑕疵なき会員であること
- b) 元ガバナーであること
- c) 地区で定めた地区研修リーダーの責務を受託する意思と能力を有すること
- d) 地区ラーニングファシリテーターはガバナーエレクトに対して地区研修に関する責任を負う事を明確に理解していること
- e) 地区研修委員会の委員長を兼ねる。

3) 地区の研修セミナー

地区ラーニングファシリテーターは、地区チーム研修セミナー、PETS、地区研修・協議会、ガバナー補佐の研修、適宜開催される地区内におけるその他の研修行事に関し、ガバナーエレクトの指示を受けてこれを補佐する。

地区ラーニングファシリテーターは、その他、地区委員研修プログラムの立案・実施に就いて、ガバナー及びガバナーエレクトを補佐すると共に、ガバナーや地区委員会と協力し、地区指導者のための研修を開発・運営する。

④ 第19条 名称変更

旧 : 地区研修委員会

新 : 地区ラーニング委員会

⑤ 改訂日 2023年7月1日

以上

2023-24年度 ガバナー 三井福次郎

* 地区運営指針は、D2550 ホームページ「資料室→各種資料」に掲載してあります。



ロータリーの学習体験を高める

ロータリーにおける私たちの取り組み方は、研修モデルから学習モデルへと移行しつつあります。

これは、「参加者を活動の中心に据える」という行動計画の目標の一部でもあります。また、このことは、会員が学習により積極的に参加し、学習内容をよりよく管理できるようになることを意味します。

また、ロータリーでの学習体験を指導する人は、知るべき情報を伝える講師としてではなく、メンバーがアイデアを共有できるように導くファシリテーターとしての役割を果たすこととなります。

オンライン・コースは、基礎的な情報を自分のペースで学べるように設計されています。そして、その得られた知識は、ファシリテート・ディスカッション*や少人数制の活動を含む対面セッションでの体験に生かされ、より良いものとなります。対面式研修会のためのリーダーズガイドでは、この変化を反映しています。

ファシリテート・ディスカッション*とは、自発的な参加者が、中立的な第三者によって支援されながら、両者の間に生じた問題について話し合う非公式な会合のことです。参加者は関心事や問題点を話し合い、互いに受け入れ可能な結果を共同で作ります。

ある主題（トピック）について学び、スキルを向上させるのに、正しい方法はひとつではありません。そのため、ロータリーでは、多くの教材に融合型アプローチを取り入れています。

今回、ファシリテーションを重視する新しい学習文化（learning culture）への移行に伴い、これらの名称も変更される予定です。

現在の名称 Current Title	新しい名称 New Title (1 Jul 2023) 2023年7月1日より
Club Trainer クラブトレーナー（クラブ研修リーダー）	Club Learning Facilitator クラブ研修ファシリテーター
District Trainer 地区トレーナー（地区研修リーダー）	District Learning Facilitator 地区研修ファシリテーター
District Training Committee 地区研修委員会	District Learning Committee 地区研修（学習）委員会
International Assembly Training Leader 国際協議会研修リーダー	International Assembly Learning Facilitator 国際協議会研修ファシリテーター
Regional Leaders Training Institute 地域リーダー研修会	Regional Leader Learning Event 地域リーダー研修会



研修 Training VS. 学習 Learning

研修 Training とは、情報や知識を与えることです。

特定の作業を行うにあたって他人を訓練したり、または実演を通じて技術を訓練したりします。研修は、参加者に対して行われます。

学習 Learning とは、スキルや能力を向上させるために情報を吸収することです。

学習方法の例としては、トピックについて調べる、アイデアを議論する、スキルを練習するなどがあります。

学習とは、参加者が行うことです。

研修から学習へ

内容重視 研修
参加者中心 学習

カルチャー*（共通の知識と価値観） Culture と名称 Names を変える

クラブトレーナー(研修リーダー)	⇒	クラブ研修 (学習) ファシリテーター
地区トレーナー(研修リーダー)	⇒	地区研修 (学習) ファシリテーター
地区研修委員会	⇒	地区研修 (学習) 委員会
国際協議会トレーニングリーダー (研修リーダー)	⇒	国際協議会研修 (学習) ファシリテーター
地域リーダー研修会	⇒	地域リーダー研修会 (学習会)

カルチャー* (Culture) とは：

1つの社会が共有するすべての知識と価値観
all the knowledge and values shared by a society

オンライン講座によるカリキュラムを構築する

- 指導者用ガイドを改訂し、コースを発展させる。
- オンラインコンテンツは、自分のペースで学習するためのもの。
- 対面学習は、小グループでアイデアを共有したり、行動計画を立てたり、内容を再認識したり、課題の解決策を見出すのに最適です。
- 融合型学習は、オンラインと対面での学習を組み合わせたものです。
- ロータリーのラーニング・センターでの講座、対面での学習、さらにバーチャル会合が含まれます。





みつ い ふく じ ろう

三井 福次郎

国際ロータリー第2550地区 2023-24年度ガバナー
佐野ロータリークラブ

ガバナーズレター、思うことを記していきたいと思います。

ガバナー研修を受けながら徒然思うことを書いてみました。

ロータリーの大先輩方には、「ロータリーの目的、奉仕の理念、4つのテスト、2つの標語」など、これまでの歴史的に蓄積されたロータリー哲学と、最近（特にジョン・ヒューコ事務総長を迎えてからの数年）のロータリー理念、用語、ロータリー観（財団の重視、事業の効率性の重視のほか、戦略計画、中核的価値観、ビジョン声明、行動計画、DEIなど）との間の関連性、連続性、継続性に悩んでおられる方が多いようです。

「ロータリーも変わって、ついて行けない。理解できない。面白くなくなった。」とおっしゃる方も少なくありませんし、実際、経験豊富な方々が退会されるケースも散見されます。

「マイロータリーから情報も取らず、オレのロータリーになっている。」と言ってもいいかもしれません。でも、これって、「ロータリー鬱」ですよね。私たちガバナーは、地区メンバーに対して、まさに、1905年から100年間のロータリー哲学と、その後の新たな100年のロータリー哲学をつなぐ、**継続性を分かりやすく説明する（時代の要請、社会の要請、さらには歴史の要請に答えて、どこが「継続」で、どこが「新しい、革新」なのかを時代の変化をみすえて説明する）必要があると思うのです。**つまり、そのようなメンバーのロータリーに対する「心の平和」を取り戻し、ストレスを解消し、ロータリーへの「希望」を再び持っていただくこと、それが、インクルージョン（居心地の良さ）だろうと。

私は、「メンタルヘルスへの取り組み」の中に、このようなことも含まれているのではないかと、少なくとも、私たちガバナーは読み取るべきではないかと思うのです。マッキナリー氏のテーマ講演で、彼が「ロータリーが**会員**と奉仕を受ける人の両方を支える組織として知られるようになってほしい」と発言していることが気になるのです。もちろん、ここでの「会員」をあげている意味については、メンタルヘルスをすれば、相手だけでなく、メンタルヘルスに係わった会員自分自身も心の平穏を得ることができる、というのが基本的理解ですが。



2023年1月9日
オーランドでの研修会で記す



会員強化月間によせて

会員組織委員会 委員長 狐塚 秀幸 (今市RC)



本年度の地区内会員数の増減は、少しずつ改善の兆しはあるものの、長引くコロナ禍による経済の疲弊や相次ぐ物価上昇等の外部要因が重く申し掛かり、苦戦しているのが現状です。会員増強には逆風が吹き、厳しい情勢が続きますが、そんな中でも会員数を増やしているクラブも存在します。

地区研修・協議会の分科会でもお話させていただきましたが、過去のデータによりますと、2550地区の会員数は、1997-1998年度の2737名をピークに、2023年5月末のデータでは1641名と、1000名以上減少しています。バブル経済崩壊という特殊要因があったにせよ、最初にこの数値を知った時は本当に衝撃を受けました。およそ25年で1000名減ということは、一年あたり40名減少していることになります。これを単純にクラブ数50クラブとして割ると、一クラブ年間0.8人の減少になります。少し強引な数字かもしれませんが、自分がクラブの会員増強委員長だった時も、3名入会でしたが、自然減や止むを得ない退会理由によって4名退会になってしまいました。結果的に1名の純減で止む無しと考えていた時期もありましたが、こうした少しずつの会員の減少が1000名の会員減となったしまったと知った時は、これは何とかしなければと正直悩みました。

My ROTARYにある「クラブ会員増強委員会のチェックリスト」の中に、「候補者情報と入会プロセスを確認するために、少なくとも毎月会合を開く」とあります。三井ガバナーも地区方針の中で、「目標として委員会を月に一度は開催してください。」とお願いしています。是非クラブ内で活発な会員増強委員会を開催していただき、目標達成をお願い致します。今年の三井カバナー年度の各クラブの目標は純増2名です。簡単ではありませんが各クラブの会員増強委員会を中心に、一年間宜しくお願い致します。

地区会員組織委員会では、今後各クラブを支援できたらと考え、まずは支援策を探るべく本年度は各クラブの会員増強委員会を訪問して意見交換会を実施します。地区委員会への要望、会員増強における各クラブの悩みや成功事例などをお伺いできればと考えています。8月22日の栃木ロータリークラブ様を皮切りに各クラブに訪問させていただきますので、うちのクラブにも来て欲しいとのご要望があれば、是非ご遠慮なくお申し出下さい。宜しくお願い致します。



地区委員長紹介

2022-23 年度 2550 地区 三井ガバナ一年度を支える
地区委員長の皆様をご紹介します。
1 年間、どうぞ宜しくお願い致します。

RLI (Rotary Leadership Institute : ロータリーリーダーシップ研究会) 委員会

RLI委員会 委員長

中谷 研一

(足利東RC)



RLIは1992年アメリカ・ニュージャージー州 (RID-7510) で元RI理事デビット・リネット氏の発案で始められた研修組織です。RLIの理念は、「質の高いリーダーシップの研修を通じてクラブの活性化を願った、草の根の多地区合同プログラムである」とされています。又、RLIは米山記念奨学会同様、RIが承認した多地区合同プログラムのひとつです。

現在、先進国といわれる欧米同様日本でも会員数の減少が続くなか、ロータリーに関して、十分な知識を持たないロータリアンが増え、十分に理解されないまま多くの会員がロータリーを去って行く現実があります。真のロータリーを理解し、ロータリアンとして活動する為には、各クラブの、一人ひとりのロータリアンがロータリーを理解することが必要です。

RLIの研修方法は**全員参加型の研修会 (Active Study)** です。研修の基本コースは下記に示す3コースと卒後セミナーがあります。卒後セミナーを除き、参加者には3コース全ての出席が推奨されています。RLI研修終了後、委員会では、参加者がロータリークラブの活動に積極的に参加され、クラブを活性化し、ロータリーの発展に貢献されることを強く期待しております。

クラブを超え、楽しくロータリーを語り合い親睦を深めましょう!!

会長・幹事エレクトの皆さんをはじめ多く会員の皆様のご参加をお待ちしています。

新型コロナウイルス感染症拡大によりバーチャル開催となっていた国際協議会も本年1月、3年ぶりにin personで米国オーランドで開催されました。これに伴い、地区RLI委員会では、本年6月11日に、in personでパート1を開催し、参加者から好評を頂いております。

下記に2023-24年度委員会活動方針を示します。

【2023-24年度RLI委員会活動方針】

- (1) RLIは質の高いリーダーシップ研修を行い、研修を受けた会員が、自クラブに戻り、そのリーダーシップを広めることで、クラブの活性化を促すことを活動目標とします。
- (2) 今年度**対面式で研修会を開催**します：パート2：9月10日、パート3：12月16日
- (3) セッション内容（規定審議会、行動計画、DEI、クラブ文化等）を強化します。
- (4) ディスカッションリーダー（DL）のスキルアップを図るため、テーマを設け、対面式で研修等を行います。7月29日DL研修会開催。
- (5) 新ディスカッションリーダー育成のための研修会を計画実施します。
- (6) 新RLI委員会委員を**クラブ推薦により積極的に募集**します。



クラブ奉仕委員会

クラブ奉仕委員会 委員長

内山 浩志

(宇都宮陽南RC)



前年度に引き続きクラブ奉仕委員長を拝命致しました、宇都宮陽南ロータリークラブ所属の内山浩志と申します。微力ではございますが邁進して参りますのでよろしくお願い致します。

2023年—24年度 ゴードンR.マッキナリーRI会長のテーマ講演の中に、「ロータリー会員として今ほど素晴らしい時はない。私たちはロータリーで素晴らしい年度の真っ只中にいる。そして新しい始まりを創り出しましょう。」というお言葉がありました。そして第2550地区23年—24年度 三井福次郎ガバナーは、「重点施策の中において、目標＝純増2名。さらに月に一度の各委員会の開催を。」と掲げています。

今年度クラブ奉仕委員会と致しまして、各クラブの将来性・継続性の重視を考え、クラブ育成の強化、会員増強、会員維持のサポートをしていきたいと考えております。地区のクラブ奉仕委員会はロータリー情報委員会、会員組織委員会、クラブ例会プログラム委員会の3つで成り立っております。まず1つ目のロータリー情報委員会は、ロータリーの理念や目的、歴史、奉仕活動の情報を皆様に提供する役割を担っております。次に2つ目の会員組織委員会は、今年度も7人体制で活動し各クラブの会員維持のための情報収集、情報提供を行い、依頼があれば卓話訪問に何うなどの役割を担っております。最後に3つ目のクラブ例会プログラム委員会は、「例会は楽しく。会員のために。そして魅力的に」を念頭に置き、クラブの充実を図ることが退会防止に繋がると考え、各クラブの例会内容を収集し、各クラブに発信していく役割を担っております。

また今年度はクラブ奉仕委員会主催の新入会員セミナーもしくは会員増強セミナーなどを公共イメージ委員会と連携を取りながら検討し、各クラブの皆様に情報発信しながら素晴らしいクラブ運営が出来ますよう尽力致しますので宜しくお願い致します。

職業奉仕委員会

職業奉仕委員会 委員長

田中 正夫

(宇都宮南RC)



2023～24年度の職業奉仕委員長を仰せつかりました宇都宮南ロータリークラブの田中正夫と申します。よろしくお願い申し上げます。

「ロータリーの根幹は職業奉仕にある」と言われていますが、一方で、「職業奉仕という言葉は難解でよくわからない」ということもよく聞きます。難解なままでは良くありませんので、それを明解にしていくことをテーマにしていきたいと考えております。

三井福次郎ガバナーは、地区スローガンのひとつとして「クラブを通したロータリー生活を楽しみましょう」と掲げられました。また地区方針の7番目として「ロータリーを知ってもらおう」を掲げられました。これらに対して、職業奉仕委員会として何が出来るのかを考えていきたいと思えます。

退会防止や会員増強のためには、会員それぞれがロータリアンであることを本当に楽しんでいただく必要が有ります。親睦活動や社会奉仕活動はもちろんですが、会員それぞれの職業活動を、より意義深いもの、味わい深いものにしていくことに対して、ロータリークラブが役立つことが大切であると考えます。このことがロータリーの公



共イメージの向上にもつながっていくものと思われま

冒頭で「明解」という言葉を使いましたが、それは決して一つの答えを出すということではありません。「職業奉仕は難しい」と思っている間はロータリー生活を楽しめないと思うからです。ロータリークラブの会員一人一人が、ロータリアンであることの幸せを味わっていただき、このことが会員増強や公共イメージの向上につながっていくことを意識しながら、委員会活動を行ってまいります。

社会奉仕委員会

社会奉仕委員会 委員長

渡邊 有規

(宇都宮東RC)



2023-24年度の社会奉仕委員長を仰せつかりました宇都宮東ロータリークラブの渡邊有規と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

社会奉仕委員会では、この数年にわたって、子どもの貧困の問題について活動を続けて参りました。日本の相対的貧困率は15、6%となり、7人の子どものうち一人は貧困状態にあると言われています。このことから、日本の貧困問題は深刻であることがわかります。また、相対的貧困率の15、6%のうち半数がひとり親世帯であることも大きな問題です。また、国内の赤ちゃんが2週間に一人、遺棄・虐待死となっていることなども、心に刺さる悲しい現状です。子どもの児童虐待においても、児童相談所に相談された子どもは、一昨年10万人を突破し、また、去年はそれを超え、過去最高を更新しているということです。

私たちの第2550地区のすみずみにも、私たちには、あまり目に触れることが無い、このような多くの哀しい出来事があり、また、大変な努力をしながらも、現状を変えることができず、悩んでおられる親や子どもたちが多くおられると思います。この3年も続いたコロナ禍の中で、今まで以上に、その多くの苦しみや哀しみは、増幅されていると想像できます。このコロナ禍の中にありながら、第2550地区の多くのクラブは、前向きに自主的に、社会活動を継続的に行われております。また、これからは是非社会活動について、活発に活動をしていきたいという思いを、お聞きしているクラブもごぞいます。どのようなところへどのように、活動をすることが良いかを相談されることもございました。

私たちは、地区の社会奉仕委員会として、改めてコロナ禍の現状の中、コロナ禍を超えたこれからの未来に向かって、この第2550地区で、活動をされている多くの方々の意見を幅広くお聞きし、学び、各地域で、如何なる活動が行われ、かつ、必要とされているか、再び見直す機会をつくらせていただきたいと思います。早い時期に、社会奉仕委員会の研修会を行わせていただきます。幅広く、多くの分野で活動されておられる方々のお話をお聞きいただきます。また、後半には、各地で行われた多くの社会奉仕活動の発表の場を設けます。皆様の活動を発表いただき、多くの他クラブに伝えたいと考えています。

クラブ内での活動を相互に知るにより、新たなる気づきとなり学びとなって、次なる活動へのやる気と情熱の指針となりますことを望みます。

また、皆様の心温まる努力の活動に光が当たり、感動と感謝の思いが第2550地区の皆様の方に伝わり、また地域社会にも伝わり、公共イメージ向上においても貢献できますように、活動をさせていただきたいと考えております。

社会奉仕委員会、チーム一丸で頑張って参ります。

どうぞよろしく お願い申し上げます。



国際奉仕委員会 委員長

善林 隆充

(宇都宮RC)



2023年～2024年の国際ロータリー2550地区の国際奉仕委員長を務めます、善林です。1年間よろしくお願いいたします。

さて、昨年はコロナ過から日常も戻りつつあり、海外にも出かけることができるようになり、国際交流もコロナ過前に戻りつつあります。昨年度は地区の国際奉仕委員会から国際奉仕の実践を掲げ、具体的なグローバル補助金を活用して国際奉仕にチャレンジしていただけるクラブの募集をさせていただきましたが、具体的に立候補クラブはありませんでした。結果、宇都宮RCに担当していただいて、グローバル補助金を使い医療機器を寄贈することができました。相手国はタイ側のパトムワンRC・マカンRC・パナタカンRC・スラパトムRCの4つのRCと2550地区のグローバルグラントと宇都宮RCの合同で寄贈することができました。23年5月にこのグローバルグラントの医療機器の寄贈式にタイ国に行つてまいりました。寄贈した電動ベッド・外科用の手術機器など35480ドル日本円で約500万円の寄贈をすることができました。タイ国の地域医療に役立つ支援



昨年度、グローバルグラントで寄贈した分娩用電動ベッド

ができたと感じています。タイ国の医療は遅れており、医療機器がどれだけの人たちの命を救う事業なのかを目の当たりにして、素晴らしい事業ができたことは本当に良かったと考えています。さらに昨年度はこのタイ国訪問時に現地のタイの現役のガバナーと新たなグローバルグラントのお話をいただき、タイ国の小児科病棟へのグローバルグラント事業を真岡RC様が引き受けてくださり、現在RI審査待ちの状況でこの新たなグローバルグラントも達成することができそうです。さらに地区に入った情報では、昨年度は栃木RCがポルトガルのRCとグローバルグラントを行っており、国際奉仕委員会推薦で3つのグローバルグラントを達成することができたことは、非常に良かったと感謝しています。

本年度もグローバルグラントの申し込みは始まっており、ぜひ国際奉仕をグローバルグラントで広げたいクラブは、地区の国際委員会までご連絡をいただきたいと思います。是非、国際奉仕にチャレンジしてみてください。

ロータリー財団委員会 委員長

森本 敬三

(大田原中央RC)



日頃よりロータリー財団へのご理解とご協力、そしてご支援を賜り誠にありがとうございます。

ロータリークラブが誕生して12年後の1917年アトランタ大会でアーチ・クラフ会長は、「世界でよいことをするための基金を創りましょう」と呼びかけて出来たのがロータリー財団の始まりでした。それから106年後の今日、財団はロータリアンの皆様と共に世界中で支援の輪を広げてまいりました。財団はその使命を「ロータリアンが人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困を無

くす事を通じて、世界理解、親善、平和を構築できるよう支援する事です」と掲げています。

この使命の下、財団は皆様と共に支援の輪を広げ、取組んでいる所です。

地区内48クラブの皆様には、ロータリー財団へのご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。お陰様で昨年度は年次寄付ゼロクラブゼロの達成にご協力賜り誠にありがとうございました。また、今日世界では3つの大きな人道支援が必要とされています。

1つは、ウクライナ戦争に於ける人道支援、2つ目はパキスタンに於ける大水害。これらの戦争と災害に対して国際ロータリーはいち早くパートナー団体(シェルターボックス等)と共に行動を起こしています。財団ではウクライナとパキスタンに災害救援基金の指定寄付受付を今年12月31日迄受け付けています(詳しくはマイロータリーをご覧ください)。また、ポリオ根絶活動では、新しい認証の仕組みが出来ました。それは、「ポリオ・プラス・ソサエティ(P・P・S)」です。このシステムは、毎年100ドルの寄付を約束していただけた方を認証する仕組みです。詳しくは各クラブ宛にご案内をしていますのでそちらをご覧ください。

皆様からご支援を頂いた資金は事務経費を除き全てクラブ、並びに申請地区が使用するものです。(他に流用される事はございません)

[2023-24年度目標]

- ☆年次基金 お1人150ドル(目標は世界全体で1億5千万ドル/年)
- ☆ポリオ・プラス寄付 お1人30ドル(目標は世界全体で5千万ドル/年)
(ビル&メリンダ・ゲイツ財団より2倍の上乗せあり)
- ☆ロータリーカードの普及 (ポール・ハリス・ソサエティへの登録促進)
- ☆恒久基金 (ベネファクターの前年度比10%増)
- ☆年次基金寄付ゼロクラブのゼロを達成!
- ☆ポリオデーの普及啓蒙 (毎年10月24日)
- ☆ロータリー平和フェローシップの支援推進

公共イメージ委員会

公共イメージ委員会 委員長

田原 聖

(宇都宮東RC)



昨年度に続き、2023~2024年度公共イメージ委員長を仰せつかることになりました宇都宮東ロータリークラブの田原聖です。

三井ガバナーが掲げられた地区方針の中で、「ポリオ撲滅に力を」とし、撲滅までもう一歩となっている、ロータリーの長きに渡る取り組みを引継ぎましょうと述べられました。また、ロータリーの認知度を上げるため、「広報活動」をより活発化する必要があると語られています。ぜひ10月24日、世界ポリオデーに合わせて、クラブ又はグループなどで、イベントを行ってみませんか。ロータリーが「ポリオのない世界」というビジョンを追い続け、最優先事項として位置付けて、継続して多くのことを成し遂げてきた35年間で、ぜひロータリーを知らない方にPRして頂きたいと思っております。

ゴードンR.マッキナリーRI会長は、「世界に希望を生み出そう」というテーマを掲げられました。侵攻によって、世界の平和が脅かされ、多くの人々が壊滅的被害を受けている事。また、コロナ禍の影響によって身近な人を失ったり、あるいは、社会的なつながりが絶たれたり、社会の分裂が広がることで多くの人々が傷ついている現在の状況について、「今は歴史的な時であり、ロータリーが世界の注目を集め、現在の期待をはるかに超えた可能性への道を示す機会が訪れている」と「今」を位置付けています。



ぜひ、クラブのさまざまな奉仕活動を広報して頂き、ロータリークラブの活動が、さらに地域に溶けこみ共鳴されますよう、皆様のご協力よろしくお願い致します。

本年度の活動目標

- ・ロータリーの公共イメージとその活動に対する人びとの認識を高めることの重要性を学ぶため、講師を招いたセミナーを開催し、各クラブの公共イメージ委員長と共に学ぶ場を設定します。
- ・地区の公共イメージ委員会として地元メディアと強いパイプを築き、報道機関、地域社会のリーダー、ロータリーの奉仕プログラムの受益者など外部の人々へ、ロータリーの活動を知ってもらえるように広報活動を行うことの大切さをお伝えします。
- ・ガバナーや地区各委員長との連絡を維持し、地区のプロジェクトや奉仕活動を把握し、より大きな広報活動を行えるように活動します。
- ・公共イメージに関するロータリーのオンラインリソースやブランドリソースセンターの活用方法を各クラブに伝えてまいります。地域にあった公共イメージキャンペーンを実施した成功例を集め、各クラブにお伝え致します。

DX（デジタルトランスフォーメーション）推進委員会

DX推進委員会 委員長

市井 元

(真岡西RC)



2023年～2024年度国際ロータリー第2550地区のDX委員長を務めます、真岡西ロータリークラブの市井元です。

今期よりさらに地区のデジタル化を進めるため、SM・IT推進委員会から名称を変更し「DX推進委員会」として活動をする事となりました。組織をより効果的に活動する為にDXを推進いたします。

今までの形式にとらわれず、データとデジタル技術を活用して会員や社会のニーズ及び課題を基に、クラブ活動や奉仕のありかた、やり方、クラブの文化、風土をダイナミックに変革することが求められています。

引き続き地区WEBサイトや月信のデジタル化を継続し情報発信を強化してまいります。各クラブのブランディング支援を実施し、各クラブのWEBサイト活用やSNS(ソーシャルメディア)の活用をご支援いたします。

【今年度の活動目標】 クラブの運用効率化を図るためDX(デジタルトランスフォーメーション)をご支援いたします。

①MY ROTARYの活用促進支援

「My Rotary」の登録および活用を支援させていただきます。スマートフォンからマイロータリーにアクセスできるようにし、情報取得を身近なものにしていく。クラブの長期計画や目標の管理に欠かせない「クラブセントラル」の運用の支援。

②ソーシャルメディアの活用支援

③各クラブの情報発信のデジタル化を強化し、各クラブのHPやFacebookを立ち上げ、ソーシャルメディアの運用方法や情報提供を通して、各クラブのブランディングをご支援させていただきます。また、ローターアクト・インターアクトの情報発信を強化します。

委員会と共通理解を図るために各クラブに推進委員1名の登録をお願いします。

④DXの推進に向け、アナログデータのデジタル化支援を進めていく。

- ◆ 紙ベースから電子化ベースへ (FAXや郵送をできるだけ廃止し、電子化へ)
- ◆ e-mailの登録100% (My Rotary登録との連動のため)



ロータリー米山記念奨学会委員会 委員長

田島 良久

(馬頭小川RC)



昨年度に引き続き、地区の委員長を仰せつかりました田島良久と申します。所属クラブは馬頭小川ロータリークラブです。不慣れではございますが、どうぞ宜しくお願い致します。

米山記念奨学会の事業とは、海外からの優秀な留学生を受け入れ奨学金を支給すると共に、日本の文化を理解し、私達も海外の文化を理解し交流を図り、将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー活動の良き理解者と成る人材を育成する事で、ロータリアンが目指す世界平和を求める全世界に誇れる国際奉仕事業であります。

米山記念奨学会は、国際ロータリーから認められた日本34地区合同によるプロジェクトです。そして、公益財団法人として57年経過し、全てロータリアンの寄付支援金によって運営しております。

2023年度の奨学生の数は899人、事業費は14億5千万円(21-21年度決算)と、外国人留学生を対象とする民間奨学金では国内最大規模です。これまでの累計奨学生数は22,267人(22年7月現在)、その出身国は世界129の国と地域に及んでおります。

本年度の目標としまして、一年を通じ、奨学生と地区内の会員との交流の機会を増やし、奨学会活動のさらなる理解を推進していきたいと考えます。ただ、活動するにも、やはり経済的に非常に困窮している現状ですので、各クラブへの「特別援助」を、お願いせざるを得ない状況ですので会員の皆様には御理解の程お願い致します。

今年度の学生数は23名ですが、次年度は22名に減ってしまいました。これは2年前の地区内の会員の皆様より納入して頂いた普通寄付・特別寄付・金額等によって決まりますので、支援金額が少なくなると奨学生の採用枠も減ってしまいますので、会員の皆様には更なる御理解して頂くと共に、委員会としても学友会の活動をする事により、寄付支援金額の増加が期待でき、採用枠の増加に繋がり、ロータリー活動の中の米山奨学会活動をさらに活性化していきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

青少年奉仕 (Youth Service) 委員会

青少年奉仕委員会 委員長

二十二 修

(宇都宮北RC)



当地区の青少年奉仕委員会はロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA) ・青少年交換・インターアクトの3つの部門で構成されております。2020-21年度まで青少年奉仕委員会の1部門であったローターアクトは、ロータリーの真のパートナーとその立ち位置を変え、青少年育成プログラムより巣立って行きました。従って2023-24年度も前述の3つの部門委員会で活動してまいります。

青少年奉仕部門の3委員会はともにRIの常設プログラムとなっており、その枠組みと方針はRI理事会より示されます。そしてその目的はともに「未来のリーダーを育む」ことにあります。この目的のため活動する青少年およびこれをサポートするクラブのご支援をしております。

RIは2022年7月1日より青少年交換に準ずる海外プログラムを再開すると決定しました。3年間停止されていた交換等の海外プログラムおよび制限されていた国内プログラムも次年度はさらに活発に行われると期待申し上げますとともに、各クラブの皆様の積極的参加をよろしくお願い申し上げます。

最後に、青少年奉仕プログラムはRIの常設プログラムであり、プログラムの実施に当たってはその方針を遵守することが強く求められております。

地区では「青少年保護の方針」および「危機管理規程」を定め、「危機管理委員会」を設置し「危機管理計画」に基づき青少年の保護に努めております。

皆様におかれましては、青少年をあらゆる災害・事件・事故・疾病そしてハラスメント（精神的虐待）から守るため「**青少年と接する際の行動規範に関する声明***」の具体的内容を熟知いただき、全ての関係者に「虐待およびハラスメントの防止」の周知をお願いします。

また、地区のホームページ（地区委員会ページ）にも掲載してあります「青少年保護の手引き」をご一読いただくとともにクラブ内での共有をお願いします。

***青少年と接する際の行動規範に関する声明**

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての青少年のために安全な環境をつくり、これを維持するように努める。ロータリアン、その配偶者、その他のボランティアは、接する児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、および精神的な虐待から彼らの身を守るため、最善を尽くす責任がある。

「未来のリーダーを育むため」日々活動されておりますクラブの皆様のお役に立つよう努めてまいります。一年間よろしくお願い申し上げます。

ローターアクト委員会

ローターアクト委員会 委員長

松山 栄

(宇都宮東R C)



今期の委員会は、大変うれしいご報告があります。提唱ロータリークラブである足利東ロータリークラブのご熱意とご努力により、昨年度より会員不足で休会中であった足利東RACを再編し、新たに学生基盤の足利大学RACがRIの認証のもと、6月28日をもって新規誕生いたしました。

地区内ローターアクトクラブは、足利大学RACの新規発足に伴い宇都宮東RAC、作新学院大RAC、蔵の街とちぎRACの4クラブで活動することになりました。地区ローターアクトとは、全国34地区間での他地区合同研修会または地区内の全アクトクラブ対象の研修会をするための組織であり、地区内の活動は各ローターアクトクラブが独自の奉仕活動を実施しています。

<地区ローターアクトの方針>

1. 友好他地区ローターアクト年次大会の参加は見送る。
2. 地区ローターアクト年次大会については単独開催を見送る。
3. 第一エリア会議、関東ブロック研修会、全国研修会といった地区ローターアクト代表に議決権のある重要な会議については、代表または代表が委任した代理が参加する。



(2023—24年度前期活動計画)

7月17日(月・祭日)	「23-24年度第1回地区運営委員会」参加
7月28日(金) 19時～	「第1回地区ローターアクト委員会」開催
8月5日(土)	第27回地区インターアクト年次大会(ホスト：作新学院高校)参加
9月28日(木) 19時	「第2回地区ローターアクト委員会」開催
10月7日(土)	第1エリア会議参加(ホストクラブ：)
10月8日(日)	第1回地区献血活動実施
11月11日(土)	「会長・幹事会 次年度指導者育成セミナー」参加
11月11日(日)	「地区大会 本会議」・ローターアクト「年次大会」同時開催

(2023—24年度後期活動計画)

1月12日(木) 19時～20時	「第3回地区ローターアクト委員会」開催
3月2日(土)	第2回地区献血活動実施
3月23日(土)～3月24日(日)	全国ローターアクト研修会参加(RID2800 山形地区 山形市)
4月27日(土)～4月28日(日)	関東ブロック研修会参加(ホストクラブ：)
6月7日(金)	「第4回地区ローターアクト委員会」開催

以上の通り、地区RAは前年度同様友好他地区年次大会参加を断念することとなりますが、地区ロータリーおよび提唱ロータリークラブには引き続きローターアクトクラブをご理解の上、ご協力とご支援をいただきますようお願い申し上げます。

また、上記スケジュールに関しては変更となる可能性もあります。



例会の様子



山前駅清掃活動



07 地区クラブ 会長・幹事紹介

第1グループ

大田原



[会長]
阿久津 清孝



[幹事]
吉川 秀之



[会長]
稲垣 政一



[幹事]
井出 法



[会長]
小関 栄



[幹事]
青山 吉博

黒羽



[会長]
大西 広明



[幹事]
吉成 慶司



[会長]
富塚 保



[幹事]
天野 雅彦

大田原中央

第2グループ

烏山



[会長]
堀江 竜也



[幹事]
福田 長弘



[会長]
大古 秀子



[幹事]
栗田 好浩



[会長]
中里 理香



[幹事]
千野根 友和

馬頭小川



[会長]
塩澤 雄二



[幹事]
田所 伸張



[会長]
澤畑 宏之



[幹事]
荒井 一夫

高根沢



第3グループA

宇都宮



[会 長]
酒井 誠



[幹 事]
平出 宣幸



[会 長]
床井 健一



[幹 事]
濱崎 崇



[会 長]
仲田 陽介



[幹 事]
上野 広行

宇都宮90



[会 長]
岸 広



[幹 事]
柴原 幸一



[会 長]
上杉 哲也



[幹 事]
山口 友邦

宇都宮陽北

第3グループB

宇都宮東



[会 長]
石川 元信



[幹 事]
谷田部 修



[会 長]
若林 博純



[幹 事]
嶋田 辰雄



[会 長]
川人 健司



[幹 事]
鈴木 洋平

宇都宮陽南



[会 長]
神山 良平



[幹 事]
阿部 晋



[会 長]
亀井 光一郎



[幹 事]
諸鹿 大介

宇都宮さつき



第4グループ

真岡



[会 長]
石塚 龍夫



[幹 事]
横松 和美



[会 長]
広木 規男



[幹 事]
猪口 又雄



[会 長]
市井 元



[幹 事]
七海 朱美

下野上三川



[会 長]
篠崎 宏司



[幹 事]
深谷 明生

第5グループ

小 山



[会 長]
小浦 正久



[幹 事]
中尾 聡



[会 長]
尾崎 弘明



[幹 事]
瀬野 公男



[会 長]
前田 芳夫



[幹 事]
橋本 卓雄

小山北



[会 長]
荒井 覚



[幹 事]
大山 基秀



[会 長]
石塚 伸



[幹 事]
五十畑 克行

小山中央



第6グループ

栃木



[会長]
阿部 幸央



[幹事]
永谷 義篤



[会長]
針谷 哲也



[幹事]
板倉 聡



[会長]
五十畑 賀章



[幹事]
福島 雅人

壬生



[会長]
川嶋 健市



[幹事]
奈良部 好司



[会長]
渡部 康男



[幹事]
君嶋 淳子

栃木南

第7グループ

日光



[会長]
相良 芳隆



[幹事]
三ツ山 一明



[会長]
高山 英



[幹事]
橋本 勝浩



[会長]
中村 清隆



[幹事]
阿部 光記

鹿沼東



[会長]
設楽 光江



[幹事]
刀川 貴美子



[会長]
石川 健一



[幹事]
八木 修一



[会長]
和貝 益男



[幹事]
田村 幸雄

鹿沼中央

今市きぬ



第8グループ

足利



[会長]
柳川 英一



[幹事]
阿彌 強

足利東



[会長]
板橋 信行



[幹事]
笠原 健一

足利西



[会長]
大塚 真司



[幹事]
世取山 晃央

足利わたらせ



[会長]
栗原 茂夫



[幹事]
阿由葉 寛

第9グループ

佐野



[会長]
関口 勝



[幹事]
筒井 芳浩

葛生



[会長]
関塚 保雄



[幹事]
奥山 浩司

田沼



[会長]
池亀 善紀



[幹事]
須藤 敏行

佐野東



[会長]
栗崎 卓二



[幹事]
浦野 克敏



ローターアクトクラブ

宇都宮東



[会 長]
遠山 拓海



[幹 事]
鏡 朱理

作新学院大学



[会 長]
大森 景太



[幹 事]
大津 真優

蔵の街とちぎ



[会 長]
関谷 暢

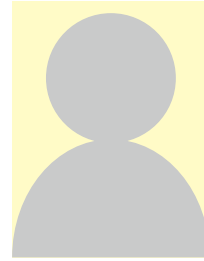


[幹 事]
大木 溪一郎

足利東



[会 長]
田邊 裕司



[幹 事]
田邊 知世





6月
11日(日)

第19回 高校生RYLAセミナーを開催して

2023-24年度 地区RYLA委員長 **長谷川 博夫** (宇都宮南RC)



今回で19回目を迎える高校生RYLAセミナーを6月11日(日)に宇都宮文星女子高等学校を会場としてお貸りし高校生参加者28名にて佐貫ガバナー点鐘、挨拶して頂き開催いたしました。

昨年まではまだまだ収束していない中、コロナ感染対策をしながらのセミナー開催でしたが、今年は感染症5類に移行になり収束する兆しの中、マスクを外しての開催は本当に活気ある開催になりました。

例年第2550地区高校生RYLAでのプログラムは「模擬国連」をしております。

模擬国連とは、国際連合でおこなわれている会議を模擬するという活動です。今回も昨年同様「COP27気候変動枠組条約」について議論しました。模擬国連の企画、運営にあたるのは東京の大学生で、日本模擬国連のサークル活動インストラクター3名に来て頂きました。

第2550地区の各ロータリークラブより推薦を受け参加した高校生には、セミナーの1週間前に議題についてのみ告知、各自下調べをしてセミナー当日を迎えました。

開講式後、初めて担当する国が発表され、受講生たちは各国大使となります。今回は2名を1組(1国)としました。(一部3名1組)

受講生たちは担当する国のスタンスペーパーをもとに、自国や他国のリサーチを開始します。自身の知識に合わせ、ウェブでの検索等も可能で、じっくりと自国の国益を探ります。

昼食をはさみ、午後は議長を介して各国大使が意見を発言、他国の意見も聞きながら交渉相手となる国を探します。





次の段階では、各国自由に他国との交渉にのぞみます、先進国、途上国が国益となる採択を目指して、お互いの妥協点を見つけながら交渉を続けます。

最後に参加国全体での採択を行い終了します。今回も、全員一致での採択となりました。

今回も、「積極性」「考察力」「発言内容」それぞれに優れた大使にアワードを用意しました。

模擬国連インストラクターがセミナー中にそれぞれに優れた受講生を選出、その理由を発表しながらの授賞式をします。受賞者のうれしそうな表情が印象的でした。

難しい議題に対して朝の来場時には不安そうな表情の受講生も多くみられましたが、交渉のポイントなどを的確にアドバイスし、議場が盛り上がるよう誘導してくれた模擬国連インストラクターのおかげもあり、リサーチ、交渉と時間の経過とともに、積極的に明るく活気ある様子が見られました。

RYLA（ロータリー青少年指導者プログラム）とは、ロータリークラブまたは地区が実施するプログラムで、若い人たちが新しい友人をつくり、楽しみながらリーダーシップのスキルを磨きます。

第2550地区RYLA委員会では、今後も「高校生RYLAセミナー」と社会人向け「一般RYLAセミナー」を通して、若い方たちが地域のリーダーを目指すきっかけとなり、受講生同士の交流をもってもらえるようセミナー開催を委員会一同、各種プログラムを用意して活動していきたいと思えます。



2023-24年度は、一般RYLAセミナーを11月2日（金）～3日（土）に一泊二日で開催予定です。

18歳から30歳までを対象としております。ロータリアンの皆様の企業の社員様やご家族、大学生、専門学校生など、将来リーダーとなって活躍してほしい若者のご推薦をお願いいたします。

最後に、開催にあたりご協力いただいたロータリアンの皆様、学校関係者の皆様、心より感謝申し上げます。





地区インターアクト第2回合同会議及びIAC会長・幹事研修会報告書

2022-23年度 地区インターアクト委員長 **藤島 拓** (宇都宮南RC)



2023年6月16日(金) ホテルニューイタヤにてインターアクト第2回合同会議及びIAC会長・幹事研修会を開催致しました。

合同会議は、地区委員会と提唱RC及びIAC(高校)が参加して、今年度の活動報告及び次年度の活動計画等について意見交換を行い、IAC活動の活性化を図ることを目的として年2回開催している会議です。

参加者は、佐貫ガバナー、三井ガバナーエレクト、二十二青少年奉仕委員長、中野青少年奉仕副委員長、地区委員10名、ローテックス1名、IAC顧問教諭15名、IAC会長・幹事24名、提唱RC担当委員長等20名の合計74名でした。

午後1時から午後4時までの3時間を3部(第1部講演会、第2部分科会、第3部まとめ)に分けて開催致しました。

第1部は本館3階天平の間にて、佐貫ガバナーの点鐘及び「インターアクトの歌」で始まり、藤島地区IA委員長が「コロナ感染拡大で中止になっていた海外研修を3月26日から29日の3泊4日の日程で「台湾研修」として無事に実施することができました。関係者に心から感謝を申し上げます。この研修会は【未来のリーダーを育てる】という青少年奉仕の目的達成を目指し開催しているので、主役はインターアクト高校生の皆様です。先輩である上野さんの講演を聞いて刺激を受けてもらい、第2部分科会の会長・幹事研修会で、積極的に他校との交流をして下さい。」と開催目的等の報告をしました。



佐貫ガバナー

委員長から「ロータリーとインターアクトクラブ」という演題で、ロータリーの歴史と青少年奉仕の内容について講演していただきました。

続いて、ローテックスの上野開美さんに「インターアクトと国際理解」の講演をしていただきました。

上野さんは、宇都宮南高2年生の時に、宇都宮南RCの推薦で、台湾の3470地

その後の佐貫ガバナーの来賓あいさつでは、「インターアクトは「井の中の蛙大海を知らず(自分の狭い知識や考えにとらわれて、他の広い世界のあることを知らないで得々としていること)にならない様に色々な事を経験し、自分を信じて挑戦してください」と激励していただきました。

続いて、三井ガバナーエレクトの来賓あいさつでは、「自分の子供は高校生時代に留学という挑戦をすることにより成長することができました、皆さんも目標に向かって挑戦して下さい。」と挑戦し成長することへの期待が述べられました。

次は第1部として、二十二青少年奉仕委員長から「ロータリーとインターアクトクラブ」という演題で、ロータリーの歴史と青少年奉仕の内容について講演していただきました。



三井ガバナーエレクト



区に1年交換留学生として派遣されました。

その後、筑波大学に入学し、ローテックスの理事会メンバーとして、青少年交換に関するオリエンテーションのサポートやSNSを通じた情報発信をされていて、3月の「台湾研修」時には、地区委員会の通訳等として参加して頂きました。

現在大学4年生で、卒業研究（社会的包摂のためのスポーツについて）が忙しい時期でしたが、「インターアクターの後輩たちのためになるならやります」と講演を引き受けていただきました。

【講演内容は以下のとおりです】

- インターアクトクラブ活動の「模擬国連」での「核なき世界」について事前に調査したことがきっかけで、世界の事をもっと知りたいと思うようになり、座学では得られない学びを知った
- インターアクトクラブ活動の地域交流で、自分の暮らしている町を知った
- 複雑な世界の歴史と現状、世界情勢を現地で学びたいと思い台湾留学に挑戦した
- 一年間の台湾留学生活で学んだことは
 - ※自国の文化を他国の人に説明できるように理解しておくことの重要性
 - ※自分を受け入れてもらうためには、自らが受け入れてもらうための努力・行動が必要
 - ※異文化を無理に受容しようとしないで、まずは理解する努力・確認が必要であること



続いて第2部分科会は南館4階桜の間で、インターアクトクラブ会長・幹事研修を開催しました。

ローテックス上野さんとインターアクター生徒の間で、インターアクトクラブ活動及び海外留学などについて質問等の意見交換を行い、多くの質問・意見が発表されて大変有意義でした。

その後の活動状況発表では「コロナウイルス感染拡大の影響で部員が減少していることや、制限ある活動で大変だった」など、各高校とも苦勞して活動を継続させていました。

その様な大変な状況の中で今年度からやっと海外研修が再開され、貴重な経験と他高校のインターアクター仲間、台湾のインターアクター仲間ができたので、これを今後のインターアクトクラブ活動に生かして行きたいと言う意見が多くて、前向きで力強い思いを感じました。

また、もう一つの第2部分科会の「第2回合同会議」を「天平の間」で開催し、藤島委員長が今年（2022-23）度の事業活動報告を行い、磯貝次年（2023-24）度委員長が次年度の年間活動計画を発表し、質疑応答を行い承認されました。

また、各提唱RC及び各高校（IAC）の活動報告・計画等では「次年度はコロナ感染の影響が少なくなっていくと思うので、部員を増やし、来年の海外研修参加を目指し、奉仕活動を活発に実施して行きたい」と積極的な意見をいただきました。

最後の第3部まとめでは、宇都宮南高校南風倶楽部インターアクトクラブの皆さんに「模擬例会」を開催してもらいました。今後の各高校IACの例会開催の参考にして下さい。

続いて、各高校IAC会長から研修会に参加した感想を下記の様に発表していただきました。

「先輩であるローテックスの上野さんと交流して、インターアクトは自分の可能性を広げるチャンスで、自分の行動次第でこれからの可能性を広げられると実感した」「インターアクトクラブはボランティアだけでなく世界とつながる可能性に満ち溢れていると思った、日本しか知らないの海外の視点を学びたいと思った」「ローテックスの先輩の話聞いて、外から自分の住む地域や自分のことを知る重要性を知った、自分や周りの人たちの新たな可能性を見つける機会になった」「今回の研修会でローテックスの上野さんや他高校のインターアクターと交流して、いろいろ勉強になったので、学校にもどって今回の内容を伝え、これからの活動を頑張りたい」

全員がインターアクトクラブ活動の素晴らしさを、上野さんの経験談等から感じて刺激を受けた様なので、この刺激をこれからの活動に活かして、いろんなことに挑戦して下さい。

結びは、藤島地区IA委員長が開催できたことへのお礼と、次年度活動への協力をお願いを総評として閉会いたしました。



今年度の年次大会は、作新学院高校・宇都宮90RCがホストとして、8月5日に作新学院高校内にて久しぶりの対面で開催される予定です、多くの方の参加をお願い致します。

最後になりますが、合同会議及び会長・幹事研修会の開催にあたり、ご指導、ご支援いただきました関係各位に対し厚く感謝申し上げます、ご報告と致します。



2023年度-24年度

第1回 地区米山委員会及び奨学生卓話研修会を終えて

ロータリー米山記念奨学会委員会 委員長 田島 良久 (馬頭小川IRC)

6月18日(日) ホテルニューイタヤに於いて、新年度の米山委員会及び卓話研修会を開催しました。

昨年度に引き続き委員長を務めさせていただきます「田島 良久」です。どうぞ宜しくお願い致します。

朝10時より佐貫直通ガバナーそして、昨年より同席して頂いております各グループのガバナー補佐



の皆さん、栃木秀磨カウンセラーの各位様と

新年度に向けて報告及び検討事項について話し合いをさせて頂きました。

初めに委員会の決算及び予算書案、学友会の決算及び予算書案を上程させて頂き了承されました。2024年度の新規奨学生の総数は昨年より9人増えて889名になりましたが、当地区の割り当て人数は1人減り**22名**になりました。

ました。

今年度 継続学生が8名おりますので新規奨学生採用人数は、**14名**となります。割当数は6月5日の本部理事会において**2年前の普通寄付・特別寄付等**の納付数値で決定されることを説明させて頂きました。

続いて、委員長の方針及び年間の予定、そして、地区目標「**19,000円**」以上についての説明をしました。今年度の重点目標としては、やはり、ロータリアンの皆様に米山を今まで以上に理解して頂くには、各クラブへ奨学生若しくは学友と一緒に訪問すること、そして8月5日～6日に開催されます学友会の世界大会「**再会イン関東**」(つくば市)への参加、11月の地区大会での奨学生の研究発表及び友愛コーナーでの各国のお茶・コーヒー等の提供を確認しました。

午後1より、児玉博利(宇都宮さつきRC)学友委員長より、卓話についての注意事項及び内容についてのポイ





ント等について説明が有りました。続いて継続学生による模範卓話と称して5人の奨学生によるパワーポイントに沿った卓話をしましたが、私を感じたことは5人とも1年前とは変わって何か上手く説明できませんが「**大きくなった**」ような感じがしました。

これも各世話クラブでお世話になっての賜物です。

そして、茶話会の時間では、奨学生1人ひとりが壇上に上がり自己紹介等のスピーチをしました。中には持ち時間では足りないくらいの学生もいて個性豊かな学生達でいっぱいですので是非とも、各クラブへ出前卓話をさせて頂ければ幸いです。

結びに、今後とも米山記念奨学会への御理解をお願いし報告とさせていただきます。





「ロータリーの友」合同会議報告並びに記事掲載のお願い

国際ロータリー第2550地区 ロータリーの友地区代表委員 **熊倉 勝**

常日頃、ロータリー活動を通じてご協力いただき感謝申し上げます。

いよいよ、新年度のロータリー活動がスタートしましたが、クラブの会長・幹事の皆様には、新型コロナウイルス感染症後の新しい活動に苦慮されていることと思います。

さて、「ロータリーの友」委員会は7月1日、東京で全国各地区の代表委員を集め、本年度の編集方針を次のように説明されました。

新企画は

「RotaractClub」(コナー名未確定)

これは、国際ロータリーの会員となったローターアクトクラブに意識を向けると共に、ローターアクトクラブの目玉となる活動を中心にクラブの抱える課題、実情を紹介する。毎号1ページ掲載。

変更点は

① 「Rotary at Work」

縦組みから横組みへ、毎号6～8ページ程度掲載、掲載基準は活動のユニークさ、投稿が珍しいクラブ、地区等。

② 「Food for Thought」

横組みから縦組みへ、毎月2ページから1ページへ。

③ 「この人訪ねて」

取材対象をローターアクターも含む会員に、レイアウトを3段組から4段組へ。

ところで、各クラブの会長・幹事様におかれましては、次のことを実施していただきたくお願い申し上げます。

- (イ) クラブ内のローターアクトの行事・活動等の掲載希望を出してください。
- (ロ) クラブ内のインターアクトクラブの行事・活動等の掲載希望を出してください。
- (ハ) 「この人訪ねて」のクラブ内の該当者を「ロータリーの友」へ推薦してください。

最後に、各クラブの活動の弥栄をご期待申し上げます。





7月
2(日)

IBS受け入れクラブ研修会

青少年交換委員長 **井川 克彦** (佐野RC)

去る7月2日、2023-2024年度地区青少年交換受け入れクラブ研修会がとちぎ青少年センター研修室にて行われました。当日は川嶋幸雄青少年奉仕カウンセラーがご出席され「郷に入っては郷に従うという心構えと忍耐の大切さ」という内容でご挨拶を頂きました。新体制となった青少年交換委員とROTEX学生、今回インバウンドの学生(以下IBS)を受け入れて頂く烏山RC、矢板RC、真岡西RC、栃木RC、足利わたらせRCの皆さまの自己紹介があり、リラックスした雰囲気の中で研修がスタートしました。



はじめに経過報告があり、その中で通常担当受け入れクラブはグループ内のローテーションで回ってきますが、グループ内のローテーションにイレギュラーがあり、受け入れクラブが決まらずに別のグループに手を挙げて頂いて決まった経過がありました。また、グループ内でメンバーの数や家庭の事情で受け入れが難しいクラブがあり、グループ内の協力を得て受け入れクラブが決定をしたということもありました。そのためIBS受け入れのための手続きに余裕を持って時間を取ることが難しかったことも併せて今後の課題となります。来年度以降グループ内でのローテーションのご確認をお願い致します。

引き続き確認事項、受入準備と日本語研修、提出書類についてなどの説明があり、午前の部を終了しました。午後はROTEXの進行で、帰国したばかりの学生からの体験談、IBSとホストファミリーとのZOOMによる顔合わせ等があり、最後にYESS登録、受入学生誓約書、危機管理、虐待ハラスメント予防、受入学生保険、年間行事日程等の説明、総括をもって午後3時に研修を終了いたしました。





新入・物故会員

新入会員紹介

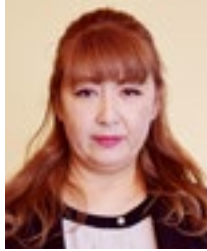


たむら きとる
田村 覚

足利わたらせRC
2023年6月1日入会

(株)CST
代表取締役

よろしくお願致します。



きむら ゆみ
木村裕美

足利わたらせRC
2023年6月1日入会

ELENA(エレナ)
代表

分からない事だらけです。宜しくお願致します。



ふじくら まこと
藤倉 誠

栃木RC
2023年3月29日入会

栃木信用金庫
本店営業部長

栃木信用金庫の藤倉です。ロータリークラブ会員として誠心誠意尽くして参ります。



よこやま じゅんいち
横山 順一

栃木RC
2023年4月26日入会

(株)足利銀行 栃木支店
理事支店長

微力ではありますが地域の発展のために精一杯頑張っています。



うの まさかつ
宇野 匡克

栃木RC
2023年5月10日入会

(株)栃木銀行 栃木支店
支店長

歴史と伝統のある栃木ロータリークラブに入会させて頂きありがとうございます。



そめや のりゆき
染谷 統由

栃木RC
2023年6月7日入会

(株)染谷商事
代表取締役

微力ながら栃木RCの奉仕活動の一翼を担えますよう尽力いたします。



ふじもり のりひこ
藤沼 紀彦

栃木RC
2023年6月14日入会

税理士法人FMC
代表社員

ロータリーの基本理念を理解し、運営方針のもと活動させていただきます。



さかもと ともや
坂本 智哉

栃木西RC
2023年7月4日入会

(株)坂本好花園
代表取締役

宜しくお願致します。



おちかい まさみ
落合 正美

栃木南RC
2023年7月6日入会

(株)オチカイ・テクノス
常務取締役

宜しくお願致します。



いそ えいじ
磯 栄二

西那須野RC
2023年7月11日入会

那須信用組合本店
営業部長

会員の皆様に御指導願いながら、活動を楽しみたいとおもっています。



こばやし やすし
小林 靖

下野上三川RC
2023年7月2日入会

星宮神社
宮司

よろしくお願致します。



ロータリークラブ例会場一覧

大田原	木曜日12:30	ホテル花月	大田原市黒羽向町2	0287-54-1105
黒磯	水曜日12:30	割烹石山	那須塩原市本町5-5	0287-62-0128
西那須	火曜日12:30	いとう家	那須塩原市扇町7-12	0287-36-0028
黒羽	金曜日12:30	ホテル花月	大田原市黒羽向町2	0287-54-1105
大田原中央	木曜日12:30	勝田屋記念会館	大田原市中田原2082-3	0287-23-4165
烏山	火曜日12:30	松月	那須烏山市中央2-1-14	0287-83-2035
家木	木曜日12:30	ホテル清水荘	さくら市氏家2433	028-682-1122
矢板	火曜日12:30	矢板にぎわい館 ホールセピア	矢板市扇町1-1202-7	
馬頭小川	水曜日12:30	ホテル美玉の湯	那須郡那珂川町小砂3102	0287-93-0811
高根沢	水曜日12:30	東雲ゴルフクラブ	高根沢町亀梨630	028-676-2800
宇都宮西	火曜日12:30	宇都宮東武ホテルグランデ	宇都宮市本町5-12	028-627-0111
宇都宮北	木曜日12:30	宇都宮東武ホテルグランデ	宇都宮市本町5-12	028-627-0111
宇都宮90	月曜日12:30	ベルヴィ宇都宮	宇都宮市宿郷5-21-15	028-633-1165
宇都宮陽北	火曜日12:30	宇都宮東武ホテルグランデ	宇都宮市本町5-12	028-627-0111
宇都宮陽北	火曜日12:30	ベルヴィ宇都宮	宇都宮市宿郷5-21-15	028-633-1165
宇都宮東	火曜日12:30	ホテルニューイタヤ	宇都宮市大通り2-4-6	028-635-5511
宇都宮南	水曜日12:30	ホテルニューイタヤ	宇都宮市大通り2-4-6	028-635-5511
宇都宮陽東	水曜日12:30	ベルヴィ宇都宮	宇都宮市宿郷5-21-15	028-633-1165
宇都宮陽南	木曜日12:30	ホテルニューイタヤ	宇都宮市大通り2-4-6	028-635-5511
宇都宮さつき	月曜日19:00	コンセール	宇都宮市駒生1-1-6	028-624-1417
真岡	木曜日12:30	真岡商工会議所	真岡市荒町1203	0285-84-2511
益子	水曜日12:30	益子カントリー倶楽部	芳賀郡益子町上大羽2268	0285-72-1234
真岡西	水曜日12:30	フォーシーズン静風	真岡市台町11-8	0285-82-3388
下野上三川	水曜日12:30	石橋商工会館	下野市石橋790-17	0285-53-0463
小山山	木曜日12:30	小山グランドホテル	小山市神鳥谷202	0285-24-5111
小山南	火曜日12:30	小山グランドホテル	小山市神鳥谷202	0285-24-5111
小山東	金曜日12:30	小山グランドホテル	小山市神鳥谷202	0285-24-5111
小山北	水曜日12:30	和風ダイニング彩華	小山市天神町2-8-40	0285-22-2633
小山中央	月曜日12:30	侑思水荘	小山市城東1-18-8	0285-22-0011
栃木	水曜日12:30	栃木グランドホテル	栃木市万町6-11	0282-22-1236
栃木西	水曜日12:30	ホテルサンルート栃木	栃木市万町16-1	0282-24-5858
岩舟	火曜日18:30	岩舟町商工会館	栃木市岩舟町静5133-1	0282-55-4307
壬生	水曜日12:30	星の宮カントリークラブ	下都賀郡壬生町壬生甲3705-1	0282-82-1128
栃木南	木曜日12:30	サンプラザ	栃木市片柳町2-2-2 サンプラザ内	0282-23-5711
日光	木曜日12:30	日光金谷ホテル	日光市上鉢石町1300	0288-54-0001
鹿沼	水曜日12:30	日晃そば	鹿沼市西茂呂2-22-25	0289-65-2525
今市	水曜日12:15	日光東照宮 晃陽苑	日光市瀬尾1640-14	0288-53-1150
鹿沼東	水曜日12:30	鹿沼商工会議所	鹿沼市睦町287-16 鹿沼商工会議所3階	0289-62-2550
鹿沼中央	火曜日12:30	㈱八百半フードセンター	鹿沼市上田町2341 八百半フードセンター本社3階	0289-64-7123
今市きぬ	火曜日12:30	山泉楼	日光市今市801-1	0288-22-4705
足利	金曜日12:30	蓮袋館	足利市緑町2-3770	0284-21-6111
足利東	火曜日12:30	ニューミヤコホテル	足利市南町4254-1	0284-71-3333
足利西	木曜日12:30	東葉館	足利市葉鹿町1981番地	0284-62-0136
足利わたらせ	木曜日12:30 第3 18:30	ニューミヤコホテル	足利市南町4254-2	0284-71-3333
佐野	月曜日12:30	ホテルサンルート佐野	佐野市朝日町702	0283-24-5000
葛生	火曜日12:30	㈱足利銀行葛生支店 2階	佐野市葛生東1-12-11	0283-85-4451
田沼	木曜日12:30	道の駅どまんなかためま	佐野市吉水町366-2	0283-61-0077
佐野東	水曜日12:30 第4 18:30	仙水閣	栃木県佐野市奈良沢町316	0283-21-4888

ローターアクトクラブ例会場一覧

宇都宮東	木曜日19:00~21:00	まちぴあorイタヤ	(まちぴあ)宇都宮市元今泉5丁目9-7	028-661-2778
作新学院大	水曜日12:15~13:00	作新学院大学	宇都宮市竹下町908	028-667-7111
蔵の街とちぎ	第3月曜日18:00	栃木第五地区コミュニティセンター	栃木市箱森町36-31	0282-21-2331
足利東	水曜日	足利商工会議所	足利市有楽町835 足利商工会議所 北事務所内	0284-40-4870



ロータリークラブ事務所一覧

大田原	ホテル花月	大田原市黒羽向町2	0287-54-1105
黒磯	磯割烹石山	那須塩原市本町5-5	0287-62-0128
西那須	いとう家	那須塩原市扇町7-12	0287-36-0028
黒羽	ホテル花月	大田原市黒羽向町2	0287-54-1105
大田原中央	勝田屋記念会館	大田原市中田原2082-3 勝田屋記念会館内	0287-23-4165
烏山	烏山信用金庫 本店内	那須烏山市中央2-4-17	0287-84-2211
氏家	ホテル清水社	さくら市氏家2433	028-682-1122
矢板	黒木靖子 様方	矢板市中2014-12 学研なか教室内	090-2470-8483
馬頭小川	ホテル美玉の湯	那須郡那珂川町小砂3102	0287-93-0811
高根沢	東雲ゴルフクラブ	高根沢町大字亀梨630	028-676-2800
宇都宮	宇都宮ロータリークラブ事務局	宇都宮市江野町1-12 栃木実業ビル2F	028-666-0555
宇都宮西	シー・メイト(株)	宇都宮市築瀬町2328-3	028-638-3075
宇都宮北	ベルヴィ宇都宮	宇都宮市宿郷5-21-15	028-633-1165
宇都宮90	東武ホテルグランデ	宇都宮市本町5-12	028-627-0111
宇都宮陽北	ベルヴィ宇都宮	宇都宮市宿郷5-21-15	028-633-1165
宇都宮東	ホテルニューイタヤ	宇都宮市大通り2-4-6	028-638-5125
宇都宮南	ホテルニューイタヤ	宇都宮市大通り2-4-6	028-635-5511
宇都宮陽東	ベルヴィ宇都宮	宇都宮市宿郷5-21-15	028-633-1165
宇都宮陽南	ホテルニューイタヤ	宇都宮市大通り2-4-6	028-635-5511
宇都宮さつき	(株)諸鹿彩色	宇都宮市川田町1048-5	028-688-8618
真岡	真岡ロータリークラブ事務局	真岡市荒町1203 真岡商工会議所内	0285-84-2511
益子	益子ロータリークラブ事務局	芳賀郡益子町益子1593	0285-72-7474
真岡西	真岡西ロータリークラブ事務局	真岡市台町11-8 フォーシーズン清風内	0285-83-1333
下野上三川	石橋商工会館	下野市石橋790-17	0285-53-0463
山	NPO法人 自動車流通市場研究所	小山市宮本町3-3-5	0285-39-7005
小山南	(有)福寿商会土地建物	小山市乙女3-17-6	0285-45-0013
小山東	東京海上日動パートナーズEAST提携代理店	小山市羽川696-1	0285-32-7210
小山北	サラン(株)	小山市城北5-3-13	0285-23-8929
小山中央	(株)高島屋商店	小山市城山町2-9-17	0285-22-0104
栃木	栃木グランドホテル	栃木市万町6-11	0282-22-7855
栃木西	栃木西ロータリークラブ事務局	栃木市万町16-1 ホテルサンルート栃木内	0282-24-5858
岩舟	岩舟町商工会館	栃木市岩舟町静5133-1	0282-55-4307
壬生	壬生ロータリークラブ	下都賀郡壬生町壬生甲3705-1 星の宮CC内	0282-82-1128
栃木南	栃木南ロータリークラブ	栃木市片柳町2-2-2 サンプラザ内	0282-23-5711
日光	日光金谷ホテル	日光市上鉢石町1300	0288-54-0001
鹿沼	(有)エムステージ	鹿沼市中田町1351-1	0289-60-5077
今市	日光東照宮 晃陽苑	日光市瀬尾1640-14	0288-53-1150
鹿沼東	鹿沼商工会議所	鹿沼市睦町287-16	0289-62-2550
鹿沼中央	(有)ガラス屋 八木 修一 様方	鹿沼市見野78-4	0289-65-0594
今市きぬ	今市きぬロータリークラブ 村上 朱実 様方	日光市吉沢230-10	0288-21-4093
足利	足利ロータリークラブ事務局	足利市田中町827 丸菱ビル 2F	0284-70-1400
足利東	足利東ロータリークラブ 事務局	足利市有楽町835 足利商工会議所 北事務所内	0284-40-4870
足利西	足利西ロータリークラブ 事務局 大美賀和子 様方	足利市板倉町604	080-1091-9996
足利わたらせ	足利わたらせロータリークラブ	足利市助戸仲町804コアパレス102号	0284-43-8660
佐野	ホテルサンルート佐野	佐野市朝日町702	0283-24-5000
葛生	葛生ロータリークラブ	佐野市葛生東1-12-11 (株)足利銀行葛生支店 内	0283-85-4451
田沼	道の駅どまんなかたぬま	佐野市吉水町366-2 道の駅どまんなかたぬま 内	0283-61-0077
佐野東	仙水閣	栃木県佐野市奈良沢町316 仙水閣内	0283-21-4828



2023 - 24年度 ガバナー公式訪問日程表

2023年7月			2023年8月			2023年9月			2023年10月			2023年12月		
1	土	ガバナー会	1	火	小山南	1	金		1	日		1	金	
2	日		2	水	馬頭小川	2	土		2	月		2	土	
3	月		3	木	真岡	3	日		3	火	宇都宮東	3	日	
4	火		4	金		4	月	宇都宮さつき	4	水	下野上三川	4	月	
5	水		5	土		5	火	栃木西	5	木		5	火	
6	木		6	日		6	水	黒磯	6	金	足利	6	水	佐野東
7	金		7	月		7	木	小山	7	土		7	木	
8	土		8	火		8	金		8	日		8	金	
9	日		9	水	鹿沼東	9	土		9	月		9	土	
10	月		10	木		10	日		10	火	岩舟	10	日	
11	火		11	金		11	月	小山中央	11	水	高根沢	11	月	
12	水		12	土	お盆休み	12	火	矢板	12	木	足利西	12	火	葛生
13	木		13	日	お盆休み	13	水	宇都宮南	13	金		13	水	
14	金		14	月	お盆休み	14	木	栃木南	14	土		14	木	田沼
15	土		15	火	お盆休み	15	金		15	日		15	金	
16	日		16	水	お盆休み	16	土		16	月		16	土	
17	月		17	木		17	日		17	火	鹿沼中央	17	日	
18	火		18	金	黒羽	18	月		18	水		18	月	佐野
19	水	宇都宮陽東	19	土		19	火	宇都宮	19	木	宇都宮北	19	火	
20	木	大田原	20	日		20	水	小山北	20	金	小山東	20	水	
21	金		21	月		21	木	大田原中央	21	土		21	木	
22	土		22	火	西那須野	22	金		22	日		22	金	
23	日		23	水	栃木	23	土		23	月		23	土	
24	月		24	木	鹿沼	24	日		24	火		24	日	
25	火	烏山	25	金		25	月		25	水	壬生	25	月	
26	水	益子	26	土		26	火	足利東	26	木	宇都宮西 (夜)宇都宮陽南	26	火	
27	木	日光	27	日		27	水	今市	27	金		27	水	
28	金		28	月		28	木	足利わたらせ	28	土		28	木	
29	土		29	火	今市きぬ	29	金		29	日		29	金	
30	日		30	水	真岡西	30	土		30	月		30	土	
31	月	宇都宮90	31	木	氏家				31	火	宇都宮陽北	31	日	



12

主要行事予定

【ロータリー 特別月間】

7月	母子の健康月間	1月	職業奉仕月間
8月	会員増強・新クラブ結成推進月間	2月	平和構築と紛争予防月間
9月	基本的教育と識字率向上月間 / ロータリーの友月間	3月	水と衛生月間
10月	地域社会の経済発展月間 / 米山月間	4月	環境月間
11月	ロータリー財団月間	5月	青少年奉仕月間
12月	疾病予防と治療月間	6月	ロータリー親睦活動月間

【地区内 主要行事】

月	日・曜日	行 事	場 所
8	5(土)	第27回インターアクト年次大会	作新学院高等学校
	6(日)	24-25年度青少年交換選考試験	とちぎ青少年センター
	18(金)	米山記念奨学会指定校対象説明会	ホテルニューイタヤ
	20(日)	クラブ米山委員長会議	ホテルニューイタヤ
	27(日)	財団補助金支給説明会	ベルヴィ宇都宮
9	3(日)	23-24年度第2回ガバナー補佐会議	ベルヴィ宇都宮
	10(日)	RLIセミナー パートⅡ	コンセーレ
10	13(金)	第26回親善野球大会前々夜祭	未定
	15(日)	第26回親善野球大会	未定
	27(金)	地区大会記念ゴルフ大会	唐沢ゴルフ倶楽部 三好コース
11	3(金)~4(土)	RYLAセミナー	ホテルニューイタヤ
	5(日)	米山記念奨学会カウンセラー研修会	ホテルニューイタヤ
	11(土)	2023-24 地区大会 会長・幹事会 指導者育成セミナー RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会	ホテルサンルート佐野
	12(日)	2023-24地区大会 本会議	佐野市文化会館
	25(土)	米山記念奨学会 面接官オリエンテーション	ベルヴィ宇都宮
12	2(土)	田沼ロータリークラブ60周年記念式典	
	10(日)	2024学年度 米山記念奨学生面接選考試験	ホテルニューイタヤ
	16(土)	RLIセミナー パートⅢ	コンセーレ
	17(日)	第2回諮問委員会	ベルヴィ宇都宮

2024年

2	4(日)	第3回諮問委員会	ベルヴィ宇都宮
	4(日)	第2回運営委員会	ベルヴィ宇都宮
	17(土)	第5グループIM	小山グランドホテル
	18(日)	24-25地区チーム研修セミナー	ベルヴィ宇都宮
	23(金) <small>*天皇誕生日</small>	24-25財団補助金管理セミナー	ベルヴィ宇都宮
	25(日)	米山記念奨学会 修了式・歓送会	ホテルニューイタヤ
3	9(土)	第9グループIM	サンルート佐野
	10(日)	第7グループIM	日光きぬがわ スパ・ホテル三日月
	17(日)	24-25 PETS・SETS	ニューサンピア栃木
4	9(日)	米山 新奨学生・カウンセラー対象オリエンテーション	ホテルニューイタヤ
	14(日)	24-25地区研修・協議会	ライトキューブ宇都宮
5	19(日)	栃木ロータリークラブ70周年記念式典	栃木グランドホテル
6	16(日)	米山 第1回地区米山委員会・奨学生卓話研修会	ホテルニューイタヤ



13 クラブ定例報告カレンダー

No.	報告事例	報告期間	報告先	備考
1	会員数及び出席報告	翌月の12日まで	ガバナー事務所	
2	クラブ現況報告書 「クラブ現況報告書記載要領」に従って作成する	公式訪問の3週間前	ガバナー事務所(2部) 担当ガバナー補佐(1部)	
3	次年度クラブ会長・幹事報告(公式名簿記載資料)	クラブ役員選挙後 2週間以内(最終2月1日)	RI日本事務局	My Rotaryにて入力
4	地区大会・選挙人証明	地区大会	地区大会選挙委員会 (ガバナー事務所)	《参考》RI細則 第15条(15.050.1)
5	入会、退会届	その都度	国際ロータリー本部	My Rotaryにて入力
6	入会・物故届(月信用)	その都度	ガバナー事務所	写真をそえてE-mail またはFAX
7	①クラブ会長、幹事、 職業分類、例会場、日時 ②所在地域、 クラブ名称の改正 ③ローターアクト、 インターアクト関係 ④クラブに関する その他の報告	その都度	日本事務局	My Rotaryにて入力
			ガバナー事務所 ロータリーの友事務所	用紙の指定のない ものは任意の様式で
8	文献・出版物等注文	その都度	RI	My Rotaryにて

----- 関係連絡先 -----

Rotary International World Headquarters,
One Rotary Center
1560 Sherman Avenue, Evanston
Illinois 60201 U.S.A
TEL.(日本より)001-010-1-847-866-3000
FAX.(日本より)001-010-1-847-328-8554/8281

国際ロータリー日本事務局
〒108-0073 東京都港区三田1丁目4-28
三田国際ビル24F
TEL.03(5439)5800 FAX.03(5439)0405

国際ロータリー日本事務局財団室
TEL.03(5439)5805 FAX.03(5439)0405

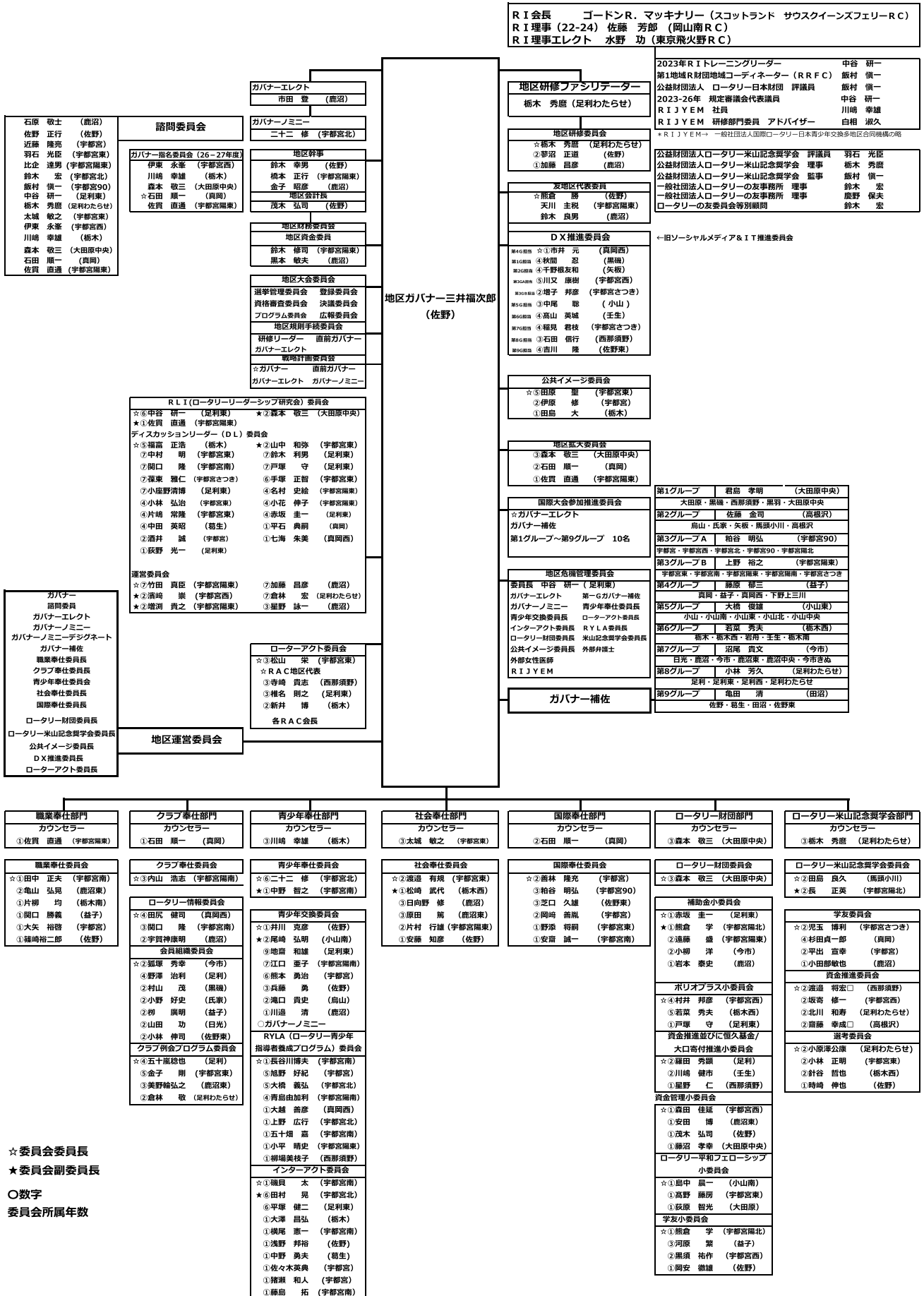
ガバナー会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15
黒龍芝公園ビル
TEL.03(3433)6497 FAX.03(3433)7395

ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15
黒龍芝公園ビル
TEL.03(3434)8681 FAX.03(3578)8281

ロータリーの友事務所
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15
黒龍芝公園ビル
TEL.03(3436)6651 FAX.03(3436)5956



2023-24年度 RID2550 地区組織図



15

国際ロータリー第2550地区6月会員数報告

分区	クラブ名	例回数	会 員 数								40歳未満
			7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性 会 員	
第1グループ	大田原	4	24	19	0	3	1	6	-5	1	0
	黒磯	4	33	35	0	0	3	1	2	3	0
	西那須野	3	47	46	0	3	4	5	-1	3	0
	黒羽	4	7	7	0	0	0	0	0	0	0
	大田原中央	2	24	22	0	0	0	2	-2	1	2
第2グループ	鳥山	3	15	15	0	0	0	0	0	2	0
	氏家	5	23	24	2	0	2	1	1	2	0
	矢板	3	10	7	0	0	0	3	-3	1	0
	馬頭小川	3	21	17	0	1	0	4	-4	0	0
	高根沢	4	14	14	0	0	0	0	0	0	0
ゲ	宇都宮	4	105	100	6	4	14	19	-5	3	1
	宇都宮西	5	68	64	0	2	3	7	-4	0	2
	宇都宮北	5	41	42	0	2	3	2	1	0	1
	宇都宮90	4	45	39	0	3	1	7	-6	4	2
	(宇都宮90結・衛星)	2	4	4	0	0	0	0	0	3	2
	宇都宮陽北	4	46	46	0	2	5	5	0	7	9
	宇都宮東	3	113	105	0	5	2	10	-8	0	3
第3Bグループ	宇都宮南	4	57	55	0	1	3	5	-2	7	1
	宇都宮陽東	4	49	47	0	2	1	3	-2	9	0
	宇都宮陽南	4	23	23	0	0	1	1	0	7	4
	宇都宮さつき	3	26	26	0	1	1	1	0	4	2
	第4グループ	真岡	3	54	50	0	2	2	6	-4	0
益子		3	29	29	0	2	0	2	-2	2	0
真岡西		3	39	38	0	1	1	2	-1	5	0
下野上三川		4	19	18	0	1	0	1	-1	3	0
第5グループ	小山山	3	22	20	0	1	0	2	-2	1	0
	小山南	4	14	15	0	1	2	1	1	2	0
	小山東	3	22	23	1	0	1	0	1	0	0
	小山西	3	23	21	0	1	1	3	-2	0	4
	小山中央	3	24	24	0	0	0	0	0	2	0
第6グループ	栃木	4	47	47	3	4	8	8	0	5	0
	栃木西	4	34	33	0	1	0	1	-1	1	0
	岩舟	2	10	8	0	1	0	2	-2	0	0
	壬生	3	17	15	0	2	3	5	-2	1	0
栃木南	4	40	38	0	1	0	2	-2	9	1	
第7グループ	日光	4	21	21	0	0	0	0	0	4	0
	鹿沼	3	65	61	0	4	0	4	-4	2	2
	今市	3	41	39	0	3	3	5	-2	1	1
	鹿沼東	3	37	39	0	1	5	3	2	5	0
	鹿沼中央	2	17	15	0	2	0	2	-2	2	0
今市きぬ	2	27	29	0	0	2	0	2	0	0	
第8グループ	足利	2	23	22	0	1	0	1	-1	1	0
	足利東	3	30	35	3	0	8	3	5	2	0
	足利西	3	11	9	0	2	0	2	-2	0	0
	足利わたらせ	5	35	32	2	1	2	5	-3	1	0
第9グループ	佐野	4	55	54	0	0	1	2	-1	0	0
	葛生	4	36	38	0	0	2	0	2	0	0
	田沼	4	44	45	0	0	5	4	1	0	0
	佐野東	3	21	21	0	1	2	2	0	2	0
	48RC		1654	1596	17	62	92	150	-58	108	37





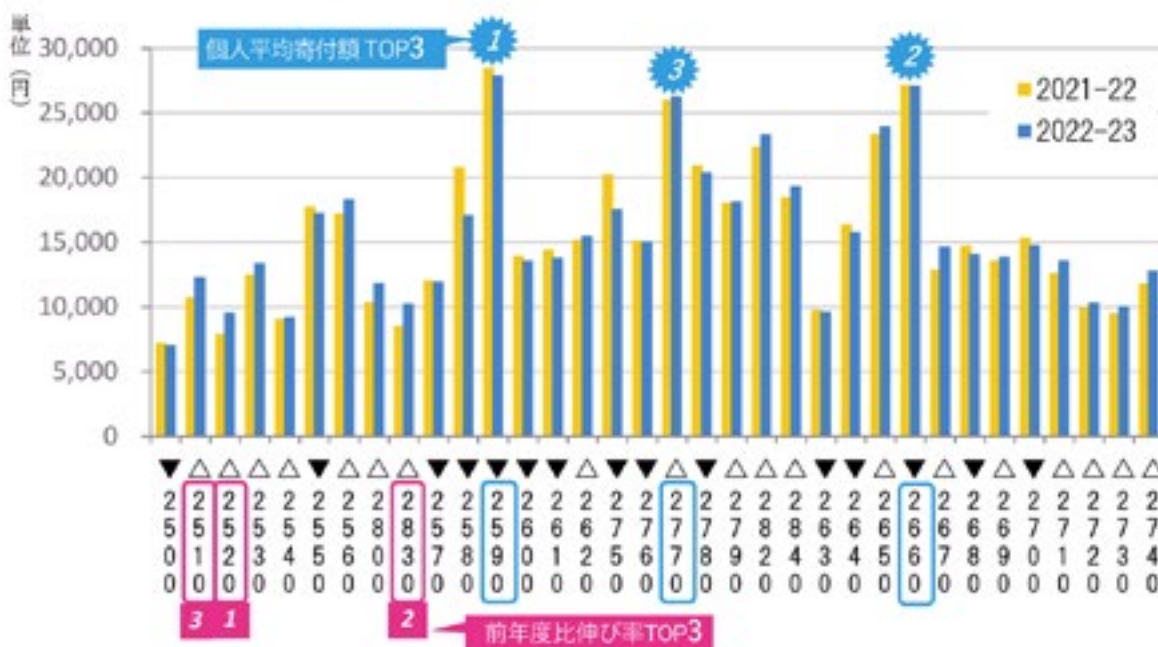
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol. **280**
2023年7月13日
発行

1. 2022-23 年度 寄付金結果

2022-23 年度の寄付金は約 14 億 2,300 万円となりました。前年度比 5.7% 増（普通寄付金:1.2% 減、特別寄付金:8.8% 増）、約 7,700 万円増加しました。とりわけ、2 人の学友からそれぞれ約 6,900 万円、1,000 万円という高額寄付をお送りいただいたことなどもあり、今年度の予算を達成することができました。皆さまに厚く御礼申し上げます。2023 年度も引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願いたします。



個人平均寄付額 TOP3 【全国平均：16,960 円】

① 第 2590 地区：27,903 円 ② 第 2660 地区：27,097 円 ③ 2770 地区：26,283 円

前年度比伸び率 TOP3

① 第 2520 地区：120.9% ② 第 2830 地区：120.5% ③ 第 2510 地区：114.5%

2. 第 2 回 次期地区米山奨学委員長セミナー開催

2023-24 年度の地区米山奨学委員長を対象とする第 2 回セミナーを 6 月 13 日、米山梅吉記念館（三島）で開催しました。セミナー開始前に市川学芸員から、館内展示と梅吉翁の墓所を案内していただきました。

セミナーは若林紀男理事長の挨拶に続き、事務局から学校説明会や奨学生選考の注意点の他、学友会、広報、寄付の説明を行いました。



その後 4 グループに分かれ、奨学生選考、奨学生育成、学友会の活性化などをテーマに、各地区における現状の課題や、取り組みについてディスカッションを行いました。最後にディス

カッションの内容を代表者が発表し、井原実常務理事の挨拶で閉会となりました。全国から集まった次年度委員長間で活発な意見交換が行われました。

3. 学友ロータリアンが10万円寄付「毎年続ける」

中国出身の米山学友で、第2620地区甲府中央RCに所属する伊原 廣鴻さん（1997-98/一宮RC）が10万円を寄付し、6月26日の例会にて第1回米山功労者として表彰されました。

現在は山梨県内で内科医として勤務している伊原さんは、「米山奨学生に合格した時は、世界が変わったかのように嬉しかったことを今でも覚えています。一宮RCの当時のカウンセラーさんには何かから何までお世話になり、本当に感謝しています。これからは、米山奨学生だったことへの恩返しをするべく、毎年寄付を続けるだけで



渡辺委員長から感謝状を授与された伊原さん(右)

なく、医療でも地域に貢献していきたいです」と、力強く今後の意気込みを語りました。

例会では、同地区の渡辺郁米山記念奨学委員長が卓話を行い、当事業の概要について説明。質疑応答も行い、米山奨学事業への理解を深めました。同クラブは、衛星クラブとしての活動を経て、2022年4月に正式にロータリークラブとして始動。第2620地区内において女性比率1位のクラブとして2年連続で表彰された特徴的なクラブで、2023年4月からはモンゴルからの奨学生を受け入れています。

4. 10年の時を経てベトナムで再会

米山学友の累計数が23,000人を超え、今や世界中で学友が活躍しています。今回は、10年の時を経て学友と再会を果たしたロータリアンの話をご紹介します。

第2670地区、阿波徳島RCは2013年から1年間、ベトナム出身のディン・ミン・フィーさんの世話クラブとなりました。当時クラブ米山委員長だった向井眞一会員によると、例会後共に食事に行き飲み交わしたり、クラブの野球チームに参加したりと、ディンさんは「社会的で、明るく真面目な性格の好青年」だったそうです。奨学期間終了後、ベトナムへ帰国したディンさんは、同地区の米山学友であるフィン・チャ

ン・ティー・フェンさん（2011-13/美馬RC）と結婚。向井会員にも結婚報告の連絡が届きました。直接お祝いすることは叶いませんでしたが、今年6月のベトナム出張を機に、ディンさんと再会。現在は不動産関係の職に就き、1人の父親として大きく成長した姿を目の当たりにし、感銘を受けたそうです。

現在も堪能な日本語を操るディンさんは、「また日本に行ってクラブの皆さんに挨拶がしたい」と思いを語り、クラブの方へのお土産をくれたそうです。向井会員は、その様子を帰国後の例会で披露。10年という月日が流れても、変わらず素敵な交流が続いています。



ディンさん(中央右)一家と向井会員(左)

Thank you



学友からの高額寄付
2021年12月に当会へ100万円をご寄付いただいた台湾出身の張忠信さん（1961-64/東京RC、1964-65/東京日本橋RC）からこのたび、2回目のご寄付として1,000万円をいただきました。張さんは、自身と同じ台湾出身の米山学友が累計で3,500人を超え、多くの後輩たちが巣立っていることに対し、喜びを語りました。改めて、お気持ちに感謝申し上げます。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281

E-mail: highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL: http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当: 長尾(ながお)